

気質と情熱を併せ持った“世界一のみかん職人”を目指す！

## 河野 徹 さん（宇和島市）

この果樹園代表 1983年生まれ

[HP] <http://kounokajuen1233.wixsite.com/kounokajuen>



### ☆経営概況☆

6haの園地で、温州みかん(85a)、ポンカン(165a)、伊予柑(80a)、はるか(20a)、不知火(35a)、清見(10a)、南津海(10a)、河内晩柑(195a)を栽培しています。11月から翌年6月までの収穫期は生果、収穫期外はストレートジュースと、年間を通して出荷しています。販売は直販や市場出荷が中心です。家族で役割分担し、両親と私の3名が農作業を、妻はインターネットを活用した販売用務を行っています。収穫期には臨時で従業員を雇用しています。

### ☆ここがポイント☆

#### ■農業は“儲かる！”“プロフェッショナルの仕事”へのイメージ改革

みかんを作るこの仕事が好きで、**中学2年で農業を志して以来、一流の職人になることを常に意識しています。**消費者が箱の最後の1玉まで美味しいと納得していただける**“本物のみかん”**を届けたいと、日々の農作業や勉強に取り組んでいます。農業には汚い・儲からないなど負のイメージがまだまだ顕在していますが、**人の食べるものを作るとは誇らしいこと**です。自然相手なので台風や獣害など心折れる時もありますが、やりがいのある大きな仕事です。そして**若い人に農家はカッコいいというイメージを持ってほしい**と願っています。かつて自分が就農したころ、周りにチャレンジする農家の先輩がいてくれたことで、夢を見て14年やってきました。**農業はビジネスチャンス**の大きな分野です。目指す農業モデルの実現と並行して、**少しずつ次世代に恩返しとして農業に夢見てほしい**と思います。**私自身、憧れられる存在になろうと日々研鑽しています。**

#### ■収穫期を分散させて周年出荷体制モデルを確立！

儲かる農業を実現するため、20歳で就農し、まず4ha分の改植を行いました。伊予柑・ポンカンを伐採し新たに河内晩柑や不知火等を定植して、**収穫期を長くし、ジュースと合わせて周年出荷できる体制を10年で確立**しました。その後インターネットを活用した**直販等の体制を、家族で協力しあって3年かけて整えた**ところです。

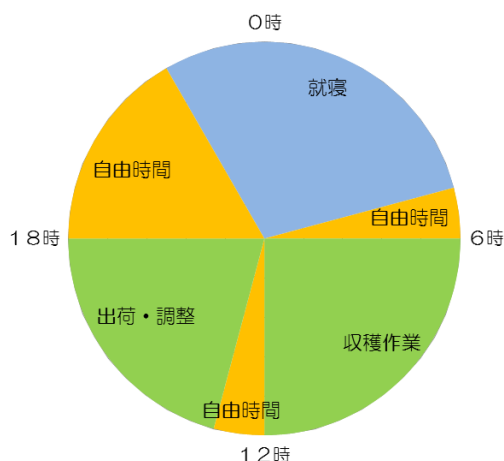


園地



河内晩柑に改植

【一日のライフスタイル（一例）】



☆普段の生活について☆

作業以外の時間も篤農家さんへ栽培に関するご指導をお願いに行く等、“本物のみかん”に対する探究心を欠かすことはありません。

みかん以外だと、趣味ではサッカーや釣りもしますが、やはり家族と過ごす時間が圧倒的に多いです。子供たちの運動会や参観日に出席したり、買い物に行ったりします。妻は農家出身ではないですが、「会社員等と違って、忙しくても工夫次第で時間を自由に使うことができ、家族の時間を持てるのが幸せ」と喜んでくれています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】						
← 収穫・出荷作業。たまのお休みは家族と過ごしています。 →						
【普通期】						
← 基本的な栽培管理をしますが、繁忙期より家族と過ごす時間を増やしています。 →						→ 休日 ←



園地にて家族と



子どもたちと

☆これからの夢や目指すもの☆

現在、私自身の農業の形が整ってきた段階を経て、次に目指しているのは、農業研修生受け入れによる次代農業者の育成支援です。魅力的な農業を実践し続けていけば必ず、その姿を見て意欲を持った就農希望者が増えると信じています。今後は研修施設やその仕組みを確立し、そういった就農希望者を受け入れていきたいと考えています。そして研修生を成功へ導き、農業のかっこいいイメージをさらに波及させることが夢です。

☆メッセージ☆

就農してから14年程たちますが、当初はとにかく人をたくさん雇い、とにかく大規模な法人経営がしたいと思って頑張ってきました。しかし、近年は自分の納得のいくみかんを一年かけてしっかり栽培したいという思いが強くなりました。

天候や気象状況に大きく作柄を左右される仕事ですが、それでも毎年、自分の納得のいく最高のみかんが作れるように、プロフェッショナルな仕事を意識し続けたいと思っています。